

Green Life なかがわ

グリーン・ライフ
～快適で安全な暮らしのために～

7. [本体工事前の調査結果]

改変区域内の消失するため池の動植物を、新たに創出したため池に移殖(植)しました。既往調査で確認されていた貴重種であるキンブナ、オゼイトンボ、トラフトンボ、ヨツボシトンボ、チョウトンボは確認されませんでした。また、ため池の生息環境を整備するため、ヨシ植生及び底泥を移動しました。

項目	範囲	実施日
動植物の移殖(植)	新たに創出したため池 (里山保全エリア)	令和2(2020)年1月24日
ヨシ植生(17.6㎡)、 底泥(70.2㎡の移動)	同上	令和2(2020)年2月(7日間)

調査期間中の工事内容

平成30(2018)年10月から令和2(2020)年3月に事業区域内の搬入道路(パイロット道路)工事を実施しました。

本調査結果の詳細は、県のホームページのほか、栃木県環境森林部廃棄物対策課県営処分場整備室でご覧いただけます。

- 栃木県環境森林部廃棄物対策課県営処分場整備室 (那珂川町総合体育館内)
- 栃木県ホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/> [暮らし・環境→廃棄物→県営処分場]

先進地視察のご案内

- ・ 令和2(2020)年度も引き続き最終処分場の先進地視察を実施する予定です。
- ・ 対象は、那珂川町に在住の皆さん、または、那珂川町に住所を有するグループ、団体です。視察のお申込みは随時受け付けておりますので、ご希望の方は県営処分場整備室までご連絡ください。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、視察を実施する日時をご相談させていただきます。

埼玉県環境整備センター (埼玉県寄居町)



- 埼玉県の直営による管理型最終処分場です。
- 平成元(1989)年2月から埋立てを開始しており、既に埋立てが完了した場所の一部は緑地公園として整備されています。
- 敷地内には循環型社会の構築を目指した民間のリサイクル施設「彩の国資源循環工場」が立地しています。

飯坂クリーンサイト (福島県福島市)



- 飯坂クリーンサイトは、県営処分場の整備・運営等を行うため設立した特別目的会社の代表企業である(株)クリーンテックが、福島県で運営している管理型産業廃棄物最終処分場です。

吾妻東部衛生施設組合 一般廃棄物最終処分場 (群馬県中之条町)



- 屋根のあるクローズド型の処分場で、中之条町、東吾妻町、高山村の一般廃棄物を受け入れています。
- 平成20(2008)年4月から埋立てを開始しています。

渋川地区広域圏清掃センター エコ小野上処分場 (群馬県渋川市)



- 屋根のあるクローズド型の処分場で、渋川市、吉岡町、榛東村の一般廃棄物を受け入れています。
- 平成27(2015)年1月から埋立てを開始しています。

お問い合わせ先

- 栃木県 環境森林部廃棄物対策課 県営処分場整備室 TEL 0287-92-1411 FAX 0287-92-1416
E-mail hai-tai@pref.tochigi.lg.jp
- 那珂川町 生活環境課 TEL 0287-92-1110 FAX 0287-92-3699

発行

- 栃木県 環境森林部廃棄物対策課 県営処分場整備室 〒324-0613 那須郡那珂川町馬頭 67-1
那珂川町総合体育館内

【栃木県ホームページ】 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>
[⇒テーマから探す ⇒ 暮らし・環境 ⇒ 廃棄物 ⇒ 県営処分場]

令和2(2020)年6月発行



今年度も最終処分場の視察を実施します。

今号では、「令和元(2019)年度環境調査結果について」と「先進地視察のご案内」についてお知らせします。

とちぎは 安全安心



がんばろう日本! 元気をとちぎから。

令和元(2019)年度 環境調査結果について

令和元(2019)年度に実施した環境調査結果についてお知らせします。

調査の結果、環境影響評価の結果と比較し、工事による影響は少ないものと判断しています。今後も調査を継続します。

なお、本調査結果は、平成29(2017)年3月に策定した環境保全計画の事後調査結果を兼ねています。

【工事中の調査結果】

1. 大気質 【調査期間:令和元(2019)年8月19日～9月18日、令和2(2020)年2月3日～3月2日】

調査項目	単位	調査地点	調査結果		参考値
降下ばいじん	[t/km ² /月]	事業区域西側民家付近	8～9月	1.7	20以下
			2～3月	2.0	
		事業区域東側民家付近	8～9月	0.3	
			2～3月	1.4	
		特別養護老人ホーム付近	8～9月	1.7	
			2～3月	1.2	

注1:参考値は、「道路環境影響評価の技術手法」(財)道路環境研究所)に示される指針値

2. 水質 【調査日:令和元(2019)年9月27日、令和2(2020)年1月23日】

調査項目	単位	調査地点	調査結果		参考値
浮遊物質	[mg/L]	備中沢	9月	3	25以下
			1月	1未満	
		小口川	9月	1未満	
			1月	1未満	

注1:参考値は、環境基準(A類型)

3. 騒音 【調査日時:令和2(2020)年2月12日 6:00～22:00】

項目	単位	調査地点	調査結果	基準値
環境騒音レベル	[dB]	事業区域西側民家付近	40	60以下
		事業区域東側民家付近	42	60以下
		特別養護老人ホーム付近	43	60以下
道路交通騒音レベル		特別養護老人ホーム前の道路沿道	48	65以下

注1:環境騒音レベル、道路交通騒音レベルは、基準時間帯平均騒音レベル

注2:基準値は、騒音の環境基準(C類型)

4. 振動 【調査日時:令和2(2020)年2月12日 6:00～22:00】

項目	単位	調査地点	調査結果	参考値
環境振動レベル	[dB]	事業区域西側民家付近	25未満	55以下
		事業区域東側民家付近	25未満	55以下
		特別養護老人ホーム付近	25未満	55以下
道路交通振動レベル		特別養護老人ホーム前の道路沿道	25未満	65以下

注1:環境振動レベル、道路交通振動レベルは振動レベルL10

注2:参考値は、環境振動レベルは振動感覚閾値、道路交通振動レベルは振動規制法の第一種区域の規制基準

5. 植物 (生態系を含む) 【調査月:令和元(2019)年5月～8月】

貴重種(エビネ、キンラン、ギンラン)の移植地での生育状況の確認、林床管理及び里山保全エリアの貴重種調査を実施しました。

項目	範囲	調査結果
生育状況	里山保全エリア(移植地)	移植したエビネ、キンラン、ギンランのうち、ギンランは確認されなかったものの、自生個体が増加した種もあり、概ね良好でした。
林床管理	里山保全エリア(移植地)	移植地周辺のアズマネザサ等の刈払いを行いました。キンラン、ギンランの個体数が増加しており、生育環境は改善していました。
植物相(貴重種)	里山保全エリア	トキホコリ、フクジュソウなど10種の貴重種を確認しました。このうち、ミズニラ、ムヨウランが新たに確認されました。

6. 動物 (生態系を含む) 【調査月:平成31(2019)年4月～令和元(2019)年5月】

(1) 昆虫類

貴重種(クチナガハバチ類)及び食草の移殖(移植)地での生息(生育)状況を調査しました。

項目	範囲	調査結果
生息状況	里山保全エリア(備中沢)	移殖地点でクチナガハバチの成虫、幼虫が確認され、食草の生育も確認されました。

(2) 魚類 【調査月:令和元(2019)年8月】

貴重種(ホトケドジョウ、アブラハヤ)の移殖地での生息状況を確認しました。

項目	範囲	調査結果
生息状況	里山保全エリア(備中沢)	移殖した備中沢のすべての地点で生息が確認されました。

(3) 猛禽類 【調査月:平成31(2019)年4月～令和元(2019)年7月及び令和2(2020)年2～3月】

項目	範囲	調査結果
生息及び繁殖状況調査	事業区域周辺	定点現地調査により6種の貴重種(ミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、サシバ、ハヤブサ)が確認されました。オオタカについては、事業区域内での営巣が確認されました。

(4) 指標動物 【調査月:令和元(2019)年6月～9月、12月】

指標動物(イタチ、オオムラサキ、オゼイトンボ)の生息状況を調査しました。

項目	範囲	調査結果
生息状況	里山保全エリア及びその周辺	イタチは備中沢周辺で成体(センサーカメラ)、足跡が確認されました。
		オオムラサキは成虫が確認されませんでした。エノキ生育地点で越冬幼虫が確認されました。
		オゼイトンボは、備中沢沿いで確認されました。